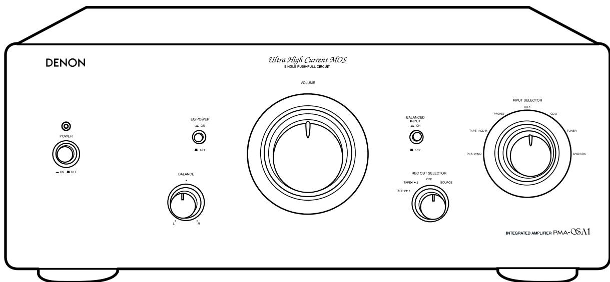
DENON

取扱説明書

PMA-SA1

PRE-MAIN AMPLIFIER

プリメインアンプ



目　次

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

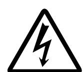


警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



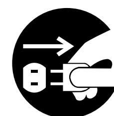
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

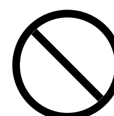
煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

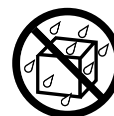
内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

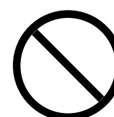
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。





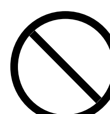
⚠ 警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

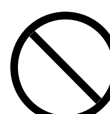
キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



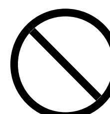
ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で
接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。



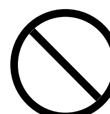
雷が鳴り出したら
電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■取り扱いについて

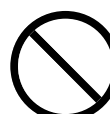
風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。


水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



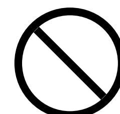
この機器の上に小さな金属物を置かない
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



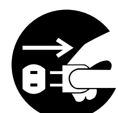
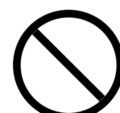
⚠ 注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



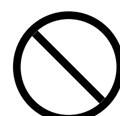
電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



電池を交換する場合は
極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

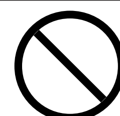


ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

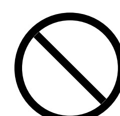


■置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



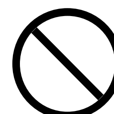
壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



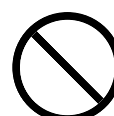
⚠注 意 つづき

■取り扱いについて

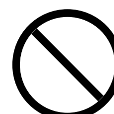
通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



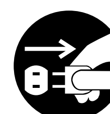
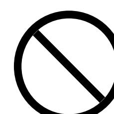
この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

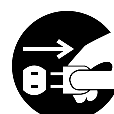


移動させる場合は
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

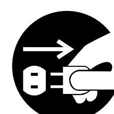
■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■お手入れについて

お手入れの際は
安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



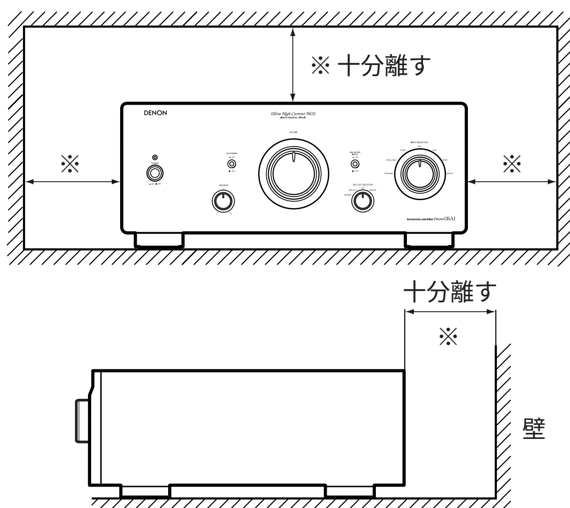
5年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

■放熱のため、下図の通り本機の天面、後面および両側面を壁や他のAV機器などとは十分離して設置してください。（下図参照）



■本機は通常の使用条件、無信号時であっても内部回路の発熱のため温度が高くなります。

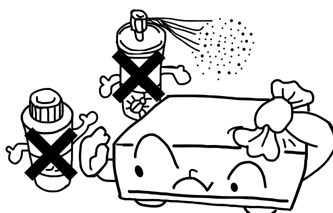
■テレビや冷蔵庫の近くに設置した場合、それらの機器から発生するノイズが混入することがあります。テレビや冷蔵庫からは1m以上離して設置してください。

お手入れについて

■キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。

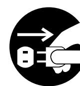


使わないときは

■ふだん使わないとき

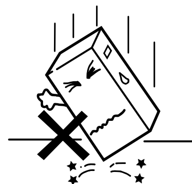
◎電源を切ってください。

◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■移動させるとき

◎衝撃を与えないでください。



◎必ず電源プラグをコンセントから抜いて、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

その他のご注意

■説明のためのイラストは、実際と異なる場合があります。

■取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくと便利です。

ステレオ音のエチケット



◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

3 本機の特長

1．新開発パワーアンプ回路の採用

1）UHC-MOS（Ultra High Current-MOS FET）を使用した、UHC-シングル・プッシュプル回路により、安定した大電流供給と優れた小信号リニアリティを両立しました。

2）各増幅段の高性能化により、電圧増幅段-1段、電力増幅段-1段のシンプルな構成とし、ナチュラルな音楽再生を実現しました。

2．NEWインバーテッドΣバランス回路を採用したラインアンプ部

1）バランス入力/アンバランス入力の両入力を可能にした、NEWインバーテッドΣバランス回路の採用により、変換アンプを不要とし、シンプルでピュアな信号伝送を実現しました。

2）忠実な信号伝送と豊かな音楽性を両立させる高音質プリメインアンプを目指し、プリアンプ部の単機能化とともに、パーツ、回路、構造を徹底的に追求しました。

3．UHC-MOSによる出力回路の表現力をバックアップする強力な電源回路

アルミ砂型鋳物ケースに封入した大容量パワー・トランス、大型高音質ブロックコンデンサー、ショットキーバリアダイオードにより構成された強力な電源回路が、UHC-MOSによる出力回路の魅力を十分に発揮させます。

4．優れたS/N特性のフォノイコライザーの採用

ＭＭタイプに対応する高S/N比のイコライザーアンプを搭載。ワイドレンジでハイクオリティーなアナログサウンドを実現しています。

5．徹底した防振設計

全面的に1.6mm厚の鋼板を用いた6ブロック・セパレート構造によりシャーシ剛性を高め、内外からの不要振動による影響を排除しました。

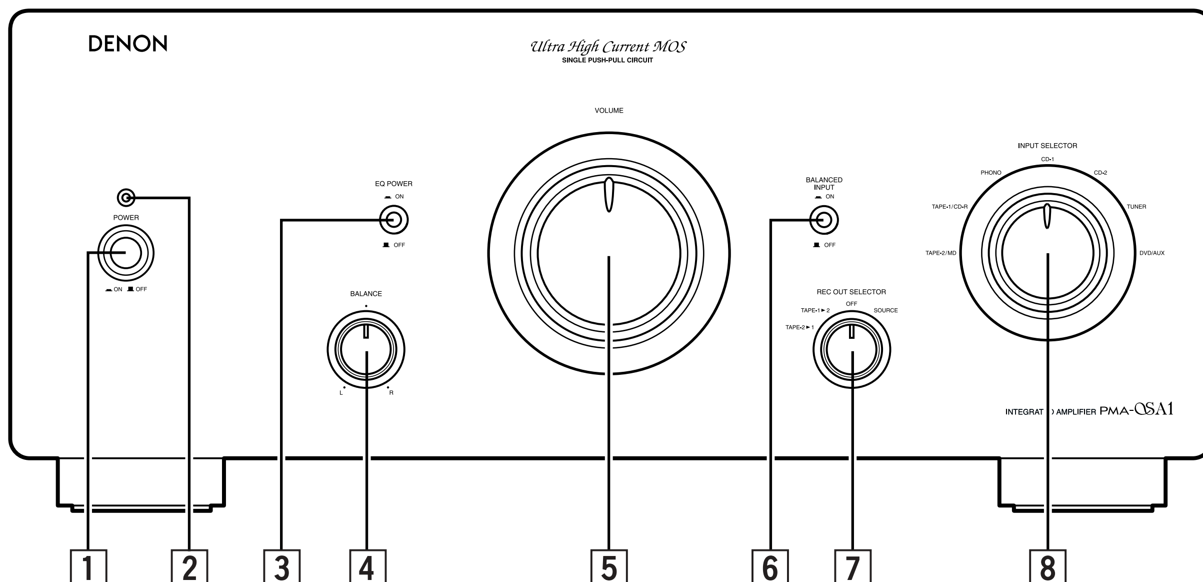
4 付属品について

★本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

電源コード	1本	取扱説明書（本書）	1冊
		製品のご相談と修理・サービス一覧表	1枚
		保証書 （梱包箱に貼り付けられています。）	

5 各部の名前とはたらき

（1）フロントパネル



[1] 電源スイッチ（POWER）

- 押して『ON（▬）』にすると電源が入り、電源表示LED[2]が点灯します。電源投入後数秒間は、ミューティング状態になります。
- もう一度押して『OFF（■）』にすると電源が切れます。

[2] 電源表示LED

- セットの動作状態を表示します。
  電源投入後およびフォノイコライザー電源スイッチ[3]やバランス入力スイッチ[6]を切り替えたとき、数秒間赤色に点滅しミューティング状態（スピーカー出力が遮断）であることを表示します。
- 動作状態では、フォノイコライザー電源スイッチ[3]がOFF（■）のとき橙色に、ON（▬）のとき緑色に点灯します。
  また、本機に搭載されている保護回路が動作（スピーカー出力の短絡、スピーカーへの直流出力、セット内温度の異常上昇など）したとき、赤色に点滅したままとなりスピーカー出力が遮断されます。この場合速やかに電源を切り、接続などの確認をしてください。

[3] フォノイコライザー電源スイッチ（EQ POWER）

- 押してON（▬）にするとフォノイコライザー回路の電源が入り、もう一度押してOFF（■）にするとフォノイコライザー回路の電源が切れます。
- このスイッチを切り替えたとき、数秒間ミューティング状態になりスピーカー出力が遮断されます。
- ONのとき電源表示LED[2]が緑色に、OFFのとき橙色に点灯します。
- レコード（アナログディスク）を再生するときONにします。（入力切り替えスイッチ[8]はPHONOにします。）レコード以外のソースを再生するとき、よりクオリティの高い品質で再生するためOFFにすることをおすすめします。

[4] バランス調節つまみ（BALANCE）

- 左右の音量バランスを調節するときに使用します。
- つまみの位置が中央にあるとき、音量は左右同じになります。
- 右側の音量が小さいときは右（↻）に回し、左側の音量が小さいときは左（↺）に回して左右の音量バランスを調節してください。

各部の名前とはたらき（つづき）

5 音量調節つまみ（VOLUME）

- 音量を調節します。
- つまみを右（↻）に回すと音が大きくなり、左（↺）に回すと小さくなります。

6 バランス入力スイッチ（BALANCED INPUT）

- 押してON（▁）にすると入力切り替えスイッチ8の位置に関係なく、リアパネルのバランス入力端子（BALANCED INPUT）に接続されたソースが選択されます。もう一度押してOFF（■）にすると入力切り替えスイッチ8のソースになります。
このスイッチを切り替えたとき、数秒間ミューティング状態になりスピーカー出力が遮断されます。

7 録音出力切り替えスイッチ（REC OUT SELECTOR）

- テープデッキなどに録音するときにTAPE-1/CD-RまたはTAPE-2/MDの録音（REC）端子への出力ソースを選択します。

SOURCE：
録音するときにこの位置にします。
録音出力はバランス入力スイッチ6および入力切り替えスイッチ8で選択されたソースになります。

OFF：
録音出力はOFFになります。録音をしないときは、よりクオリティの高い音質で再生するためOFFにすることをおすすめします。

TAPE-1►2：
2台の録音機器間でコピーをするときに使用します。バランス入力スイッチ6および入力切り替えスイッチ8の位置に関係なく、TAPE-1/CD-Rの入力がTAPE-2/MDの録音端子に出力されます。

TAPE-2►1：
TAPE-1►2と同様にバランス入力スイッチ6および入力切り替えスイッチ8の位置に関係なく、TAPE-2/MDの入力がTAPE-1/CD-Rの録音端子に出力されます。

8 入力切り替えスイッチ（INPUT SELECTOR）

- 再生するプログラムソースを選択するときに使用します。
- このスイッチを右（↻）または左（↺）に回して再生したいプログラムソースを選択します。

TAPE-2/MD：
TAPE-2/MD端子に接続したテープデッキまたはMDレコーダーを再生するときに使用します。

TAPE-1/CD-R：
TAPE-1/CD-R端子に接続したテープデッキまたはCD-Rを再生するときに使用します。

PHONO：
PHONO端子に接続したレコードプレーヤーを再生するときに使用します。

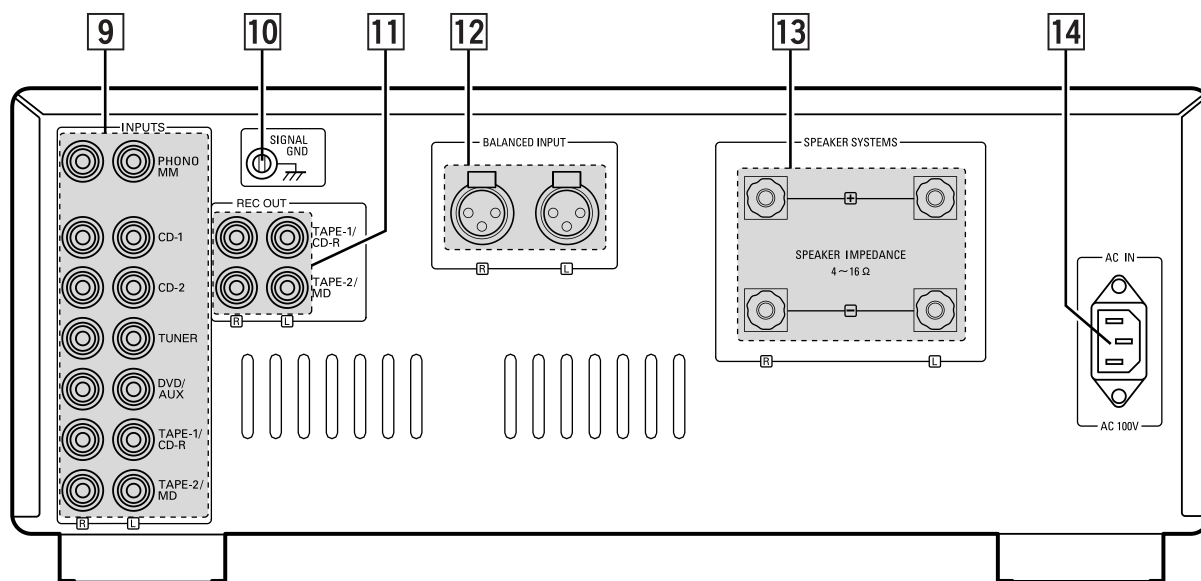
CD-1：
CD-1端子に接続したCDプレーヤーを再生するときに使用します。

CD-2：
CD-2端子に接続したCDプレーヤーを再生するときに使用します。

TUNER：
TUNER端子に接続したチューナーで放送を聴くときに使用します。

DVD/AUX：
DVD/AUX端子に接続した機器を再生するときに使用します。

(2) リアパネル



9 入力端子（INPUTS）

- レコードプレーヤー、CDプレーヤー、チューナー、その他の再生機器の入力端子です。

ご注意

PHONO入力端子にはショートピンプラグが付属しています。レコードプレーヤーを接続する場合は外してください。外したショートピンプラグはなくさないように大切に保管しておいてください。
REC OUT（録音出力）端子には絶対にショートピンプラグは挿入しないでください。音が出なくなったり、本機だけでなく接続している他の機器の故障の原因になります。

10 アース端子（SIGNAL GND）

- レコードプレーヤーのアース線を接続する端子です。

ご注意

この端子はレコードプレーヤーなどを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

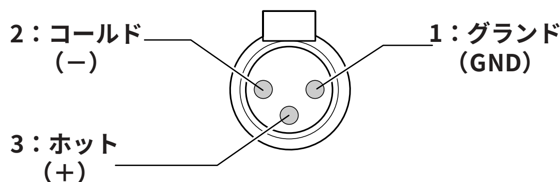
11 録音出力端子（REC OUT）

- 録音機器への録音（REC）出力端子です。

12 バランス入力端子（BALANCED INPUT）

- バランス（平衡）出力を備えたCDプレーヤーなどを接続するキャノン入力端子です。

- 端子の極性



13 スピーカー端子（SPEAKER SYSTEMS）

- スピーカーシステムを接続します。

ご注意

- 本機のスピーカー出力はBTL構成になっており、－側出力端子にも＋側出力端子と逆相の信号が出力されます。複数のアンプやスピーカーの組み合わせを切り替える切り替え機器（オーディオチャンネルセレクター）などへの接続や、スピーカーへの正規の接続のしかた（P.11参照）以外の接続（スピーカーマトリクス接続など）は故障の原因になりますので避けてください。

14 電源入力コネクター（AC IN）

- 付属の電源コードを接続します。

ご注意

- 電源入力コネクターのアース端子は接続されていません。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

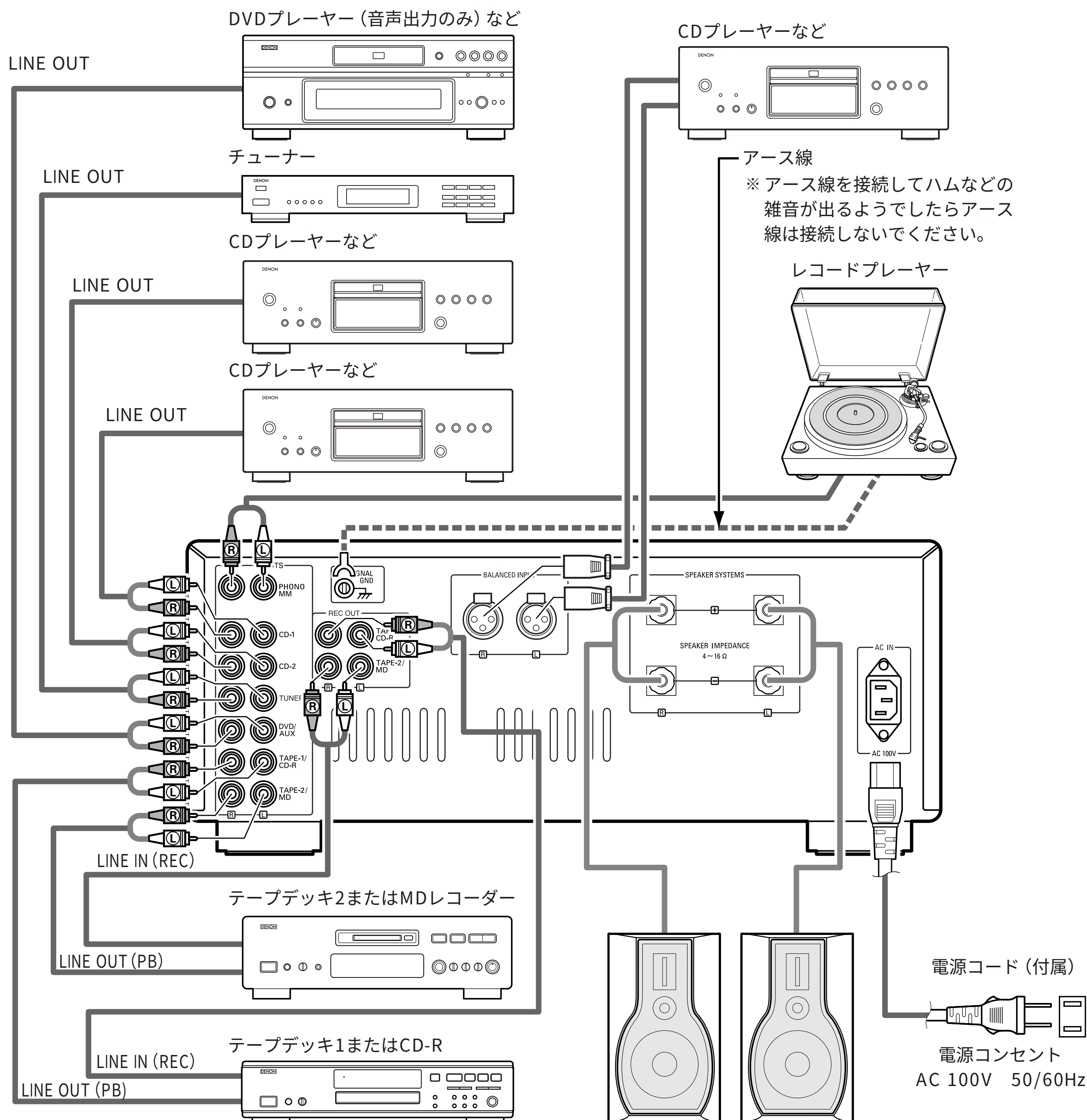
6 接続のしかた

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。
  不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 接続コード（ピンコード）と電源コードを一緒に束ねたり、テレビなど他の電気製品の近くに接続コード（ピンコード）を設置しますと、ハムや雑音の原因になることがあります。
- 入力端子“ PHONO ”は非常に感度の高い端子ですので、レコードプレーヤーを接続しないで音量を上げることは避けてください。接続せずに音量を上げた場合、“ ブーン ”という誘導ハム音がスピーカーから出ることがあります。レコードプレーヤーを接続しない場合は、付属のショートピンプラグを差しておいてください。
- 本機は通常の使用条件、無信号時であっても内部回路の発熱のため温度が高くなります。放熱に十分気をつけて設置してください。

(1) オーディオ機器の接続

★接続の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



接続のしかた（つづき）

(2) 電源コードの接続

★本機に付属の電源コードには極性が表示されています。
　お好みの音質になるように電源コンセントへ挿入してください。

(3) スピーカーの接続

SA（スーパーオーディオ）ソース再生時のご注意

通常（SAに対応していない）のスピーカーを接続する場合は、プレーヤー（DVD・SACD）の特性ポジション設定を通常のスピーカー（またはアンプ）に合わせたポジションにしてください。
DVDオーディオやスーパーオーディオCDなどのSAソースは、可聴帯域を越える高域成分を含んでいます。通常のスピーカーは可聴帯域にあわせ設計されていますので、再生音量を上げすぎるとスピーカーを損傷することがあります。（プレーヤーの設定については、プレーヤー付属の取扱説明書を参照してください。）

- スピーカー端子とスピーカーシステムは、必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続すると中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせずステレオの方向感がそこなわれます。
- 接続の際、スピーカーコードの芯線が端子からはみだして他の端子に接触しないようにしてください。またスピーカーコードの芯線どうし、および芯線がリアパネルに接触しないようにご注意ください。故障の原因になります。

ご注意

通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

■スピーカーのインピーダンスについて

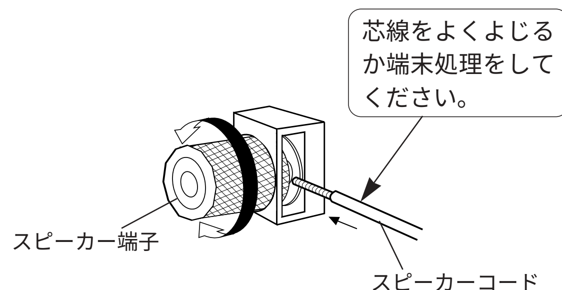
- インピーダンスが4〜16Ωのスピーカーを使用してください。
- 上記のインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作する場合があります。

保護回路について

本機には高速プロテクター回路が内蔵されています。
これはアンプの出力短絡や周囲の温度異常などが発生した場合に、スピーカーを保護するためのものです。この保護回路が動作しますと、スピーカー出力は自動的に遮断されます。このような場合は必ず本機の電源を一度切り、スピーカーケーブルの接続を再度確認してからもう一度電源を入れ直してください。数秒間のミューティング時間後、セットは正常に動作します。

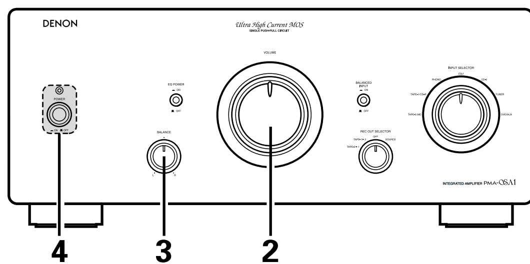
■スピーカーコードの接続

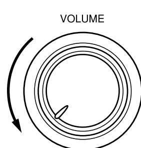
①コードの端の被覆をむきます。
②芯線をよじります。
③スピーカー端子を左に回してゆるめます。
④コードの芯線部分を全部差し込み、右に回して端子を締めます。

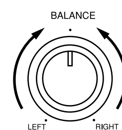
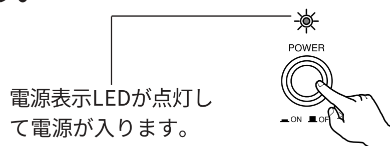


7 操作のしかた

(1) 再生前の準備

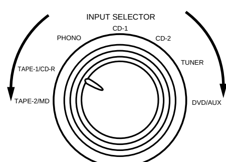


1	**『接続のしかた』(11ページ)を参照して、接続に間違いがないことを確認します。**
2	**音量調節つまみ(VOLUME)を左(∩)に回しきり、音量を最小にします。** 

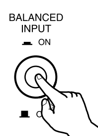
3	**バランス調節つまみ(BLANCE)はセンターの位置にします。** 
4	**電源スイッチ(POWER)を『ON(▬)』にします。** 

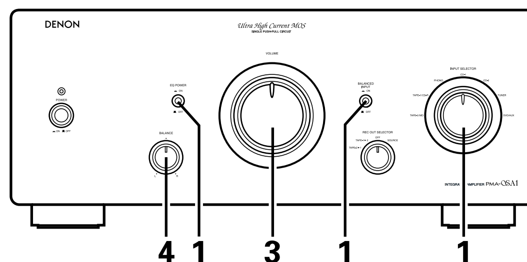
(2) 再生のしかた

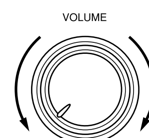
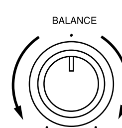
1 **入力切り替えスイッチ(INPUT SELECTOR)で、再生したいプログラムソースを選びます。**



- TAPE-2/MD端子に接続した機器の音を聞くとき…………“ TAPE-2/MD ”
- TAPE-1/CD-R端子に接続した機器の音を聞くとき………“ TAPE-1/CD-R ”
- レコードを聞くとき　……………“ PHONO ”
  フォノイコライザー電源スイッチをON(▬)にしてください。
- CD-1端子に接続した機器の音を聞くとき　……………………“ CD-1 ”
- CD-2端子に接続した機器の音を聞くとき　……………………“ CD-2 ”
- FMやAM放送を聞くとき　………“ TUNER ”
- DVD/AUX端子に接続した機器の音を聞くとき　………………“ DVD/AUX ”
- バランス入力端子に接続した機器の音を聞くとき　‥“ バランス入力スイッチON (▬) ”





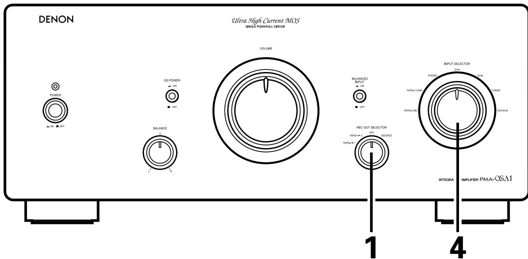
2	**プログラムソースの再生をはじめます。** ● 操作のしかたは再生する機器の取扱説明書をご覧ください。
3	**音量調節つまみ(VOLUME)で音量を調節します。** 
4	**バランス調節つまみ(BLANCE)でお好みの音量に調節します。** 

※ **注意**:バランス入力スイッチがONの場合、バランス入力端子に接続された機器が優先されます。

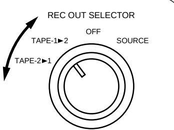
操作のしかた（つづき）

(3) コピーのしかた

★本機に接続した2台の録音機器でTAPE-1/CD-Rに接続した機器からTAPE-2/MDに接続した機器へ、またはTAPE-2/MDに接続した機器からTAPE-1/CDRに接続した機器へのコピーができます。
★録音機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



1 **録音出力切り替えスイッチ（REC OUT SELECTOR）で録音したい機器を選びます。**

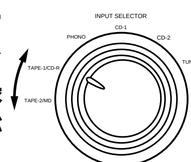


- TAPE-1/CD-R端子に接続した機器から録音するとき ………“ TAPE-1 ► 2 ”
- TAPE-2/MD端子に接続した機器から録音するとき ………“ TAPE-2 ► 1 ”

2 **録音側の機器を録音状態にします。**

3 **再生側の機器を再生状態にします。**

4 **入力切り替えスイッチ（INPUT SELECTOR）で録音する音声、または録音した音声を聞くことができます。**

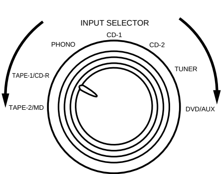


- 録音出力切り替えスイッチ（REC OUT SELECTOR）が“ TAPE-1 ► 2 ”のとき、入力切り替えスイッチ（INPUT SELECTOR）を“ TAPE-1/CD-R ”にすると録音する音声、“ TAPE-2/MD ”にすると録音した音声が聞けます。
- 録音出力切り替えスイッチ（REC OUT SELECTOR）が“ TAPE-2 ► 1 ”のとき、入力切り替えスイッチ（INPUT SELECTOR）を“ TAPE-2/MD ”にすると録音する音声、“ TAPE-1/CD-R ”にすると録音した音声が聞けます。

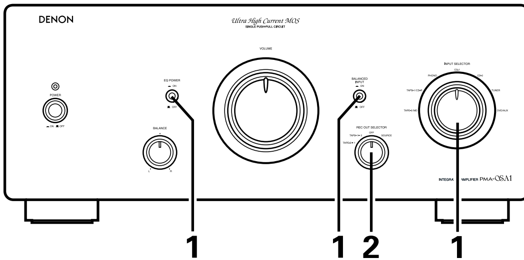
※ **注意**：録音中に入力切り替えスイッチ（INPUT SELECTOR）を切り替えると、録音音声が途切れることがあります。入力切り替えを設定してから録音をはじめてください。

(4) 録音のしかた（コピー以外）

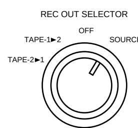
1 **入力切り替えスイッチ（INPUT SELECTOR）で、録音したいプログラムソースを選びます。**



- TAPE-2/MD端子に接続した機器の音を録音するとき ……“ TAPE-2/MD ”
- TAPE-1/CD-R端子に接続した機器の音を録音するとき ……“ TAPE-1/CD-R ”
- レコードを録音するとき ………“ PHONO ”
  フォノイコライザー電源スイッチをON（▬）にしてください。
- CD-1端子に接続した機器の音を録音するとき ………………“ CD-1 ”
- CD-2端子に接続した機器の音を録音するとき ………………“ CD-2 ”
- FMやAM放送を録音するとき ……“ TUNER ”
- DVD/AUX端子に接続した機器の音を録音するとき ……“ DVD/AUX ”
- バランス入力端子に接続した機器の音を録音するとき “ バランス入力スイッチON（▬）”



2 **録音出力切り替えスイッチ（REC OUT SELECTOR）を“ SOURCE ”の位置にします。**

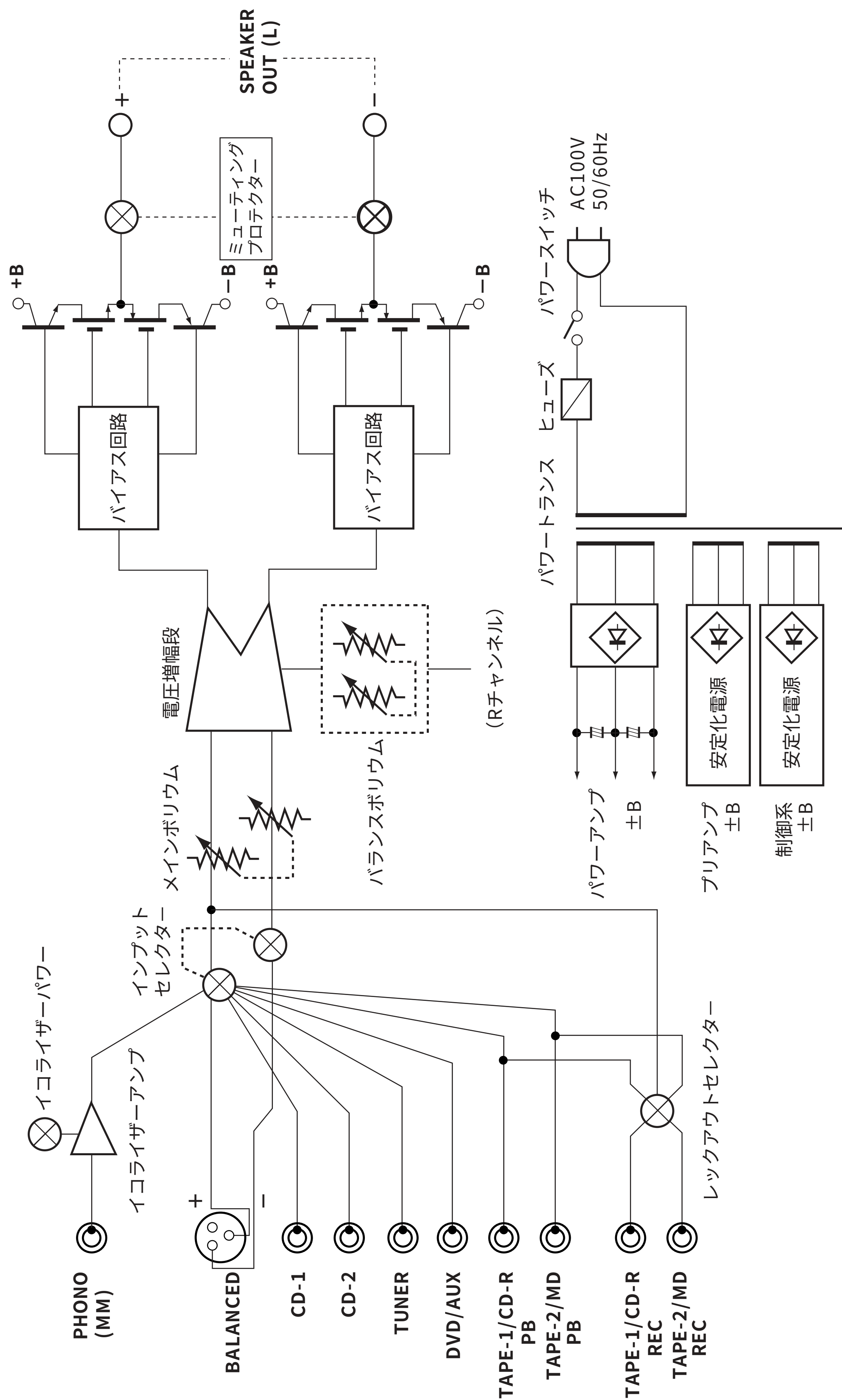


3 **録音する機器を録音状態にします。**
- 操作のしかたは録音する機器の取扱説明書をご覧ください。

4 **録音したいプログラムソースの再生をはじめます。**
- 操作のしかたは再生する機器の取扱説明書をご覧ください。

※ **注意**：バランス入力スイッチがONの場合、バランス入力端子に接続された機器が優先されます。

8 ブロックダイアグラム



9 主な仕様

■パワーアンプ部		
定格出力	両チャンネル駆動（CD→SP OUT） 50W＋50W（負荷8Ω、20Hz〜20kHz） T.H.D 0.07%	
実用最大出力	100W＋100W（負荷4Ω、1kHz） T.H.D 0.7%	
全高周波ひずみ率	0.007%（定格出力ー3dB時)、負荷8Ω、1kHz	
出力端子	スピーカー負荷 4〜16Ω	
■プリアンプ部		
イコライザーアンプ出力 （REC OUT端子）	定格出力　150mV	
入力感度/入力インピーダンス	PHONO（MM）	：2.5mV/47kΩ
	CD-1、CD-2 TUNER、DVD/AUX TAPE-1/CD-R、TAPE-2/MD	：105mV/47kΩ
	BALANCED	：105mV/100kΩ
RIAA偏差	PHONO	：20Hz〜20kHz±0.3dB（MM）
■総合特性		
SN比 （Aネットワーク）	PHONO（MM）	：88dB（入力端子短絡、入力信号5mV時）
	CD-1、CD-2 TUNER、DVD/AUX TAPE-1/CD-R、TAPE-2/MD	：105dB（入力端子短絡時）
■電源	AC100V　50/60Hz	
■消費電力	230W（電気用品安全法による）	
■最大外形寸法	434（幅）×181（高さ）×508（奥行き）mm （含フット、ツマミ、端子）	
■質量	30kg	

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



10 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか
■スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
レコード・テープ再生・FM受信中など共通して起こるとき	電源スイッチ（POWER）を入れても、電源表示LEDが点灯せず音も出ない。	●電源コードが抜けている。	●電源コードプラグおよびコネクターの差し込みを点検してください。	11
	電源表示LEDは点灯するが、音が出ない。	●スピーカーコードの接続が不完全である。 ●入力切り替えスイッチ(INPUT SELECTOR)の位置が不適当である。 ●音量調節つまみ（VOLUME）が絞ってある。 ●入力コードの接続が不完全である。	●接続し直してください。 ●正しい位置に切り替えてください。 ●音量調節つまみ（VOLUME）を再調整してください。 ●接続し直してください。	11、12 9、13 9、13 11
	片側だけ音が出ない。	●スピーカーコードの接続が不完全である。 ●入力コードの接続が不完全である。 ●左右のバランスがずれている。	●接続し直してください。 ●接続し直してください。 ●バランス調節つまみ（BALANCE）を正しく調節してください。	11、12 11 9、13
	ステレオのときに、各楽器の位置が左右入れ替わっている。	●左右スピーカー、または左右入力コードの接続が逆になっている。	●左右の接続を確かめてください。	11
	ファンクションが切り替わらない。	●バランス入力スイッチ（BALANCED INPUT）がON（▬）になっている。	●バランス入力スイッチ（BALANCED INPUT）をOFF（▀）にしてください。	9
レコード再生のとき	音が出ない。	●フォノイコライザー電源スイッチ（EQ POWER）がOFF（▀）になっている。	●フォノイコライザー電源スイッチ（EQ POWER）をON（▬）にしてください。	13
	レコード再生のときに、“ブーン”という音が出る。	●プレーヤーのアース線が外れている。 ●PHONO端子の接続が不完全である。 ●プレーヤーの近くにテレビやVTRがあるため、影響を受けている。	●接続し直してください。 ●接続し直してください。 ●設置位置を変えてみてください。	11 11 —
	レコード再生のときにボリウムを大きくしていくと“ワーン”という音が出る。（ハウリング現象）	●プレーヤーとスピーカーシステムとの距離が近すぎる。 ●床が柔らかく振動しやすい。	●できるだけ離して使うようにしてください。 ●床を伝わってくるスピーカーの振動をクッションで吸収するようにして使用してください。プレーヤーにインシュレーターが付いていないときには、市販のオーディオインシュレーターを使ってください。	— —
	音がビリつく。 （ひずんで聞こえる）	●針圧が適当でない。 ●針先にゴミがついている。 ●カートリッジの不良。	●正しい針圧に調整してください。 ●針先をチェックしてください。 ●カートリッジを交換してください。	— — —

11 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より2年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

6 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

MEMO:

株式会社デノン
本　　　社　　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー　14F
お客様相談センター　TEL：（03）6731-5555
受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。		
購入店名：		電話（　-　-　）
ご購入年月日：	年　月　日	

Printed in Japan　00D 511 4285 004